

オンサイト型PPAによる太陽光発電の導入に関するお知らせ

当社は、2030年度に2018年度比で50%以上のCO₂排出量削減、2050年度にカーボンニュートラルの実現を目指しています。その取り組みの一環として、国内の生産拠点においてオンサイト型PPAモデルによる太陽光発電を導入いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

※PPAとはPower Purchase Agreement（電力購入契約）の略。オンサイト型PPAモデルとは、PPA事業者が電力需要家の敷地や屋根等に太陽光発電設備を無償で設置し、そこで発電した電力を電力需要家に販売する事業モデル。

記

1. 太陽光発電導入の概要

国内生産拠点である岐阜製作所（武芸川地区）の建屋屋根に、株式会社シーエナジー（名古屋市中区）が提供するオンサイト型PPAモデルによる太陽光発電を導入し、2023年4月1日から発電を開始いたしました。今回導入した太陽光の発電容量は約350kWで、年間の発電量は約54万kWhを見込んでいます。また、2021年11月より岐阜製作所（極楽寺地区 第二工場）においても、同モデルの太陽光発電をすでに開始しており、今回導入した太陽光発電と合計で年間発電量は約97万kWh、CO₂排出量は年間約370t-CO₂の削減を見込んでいます。また、武芸川地区と極楽寺地区の太陽光発電の導入により、2022年のCO₂排出量合計に対して約2.3%の削減効果を見込んでいます。



岐阜製作所（武芸川地区）で導入した太陽光発電パネル

2. 今後の展開

再生可能エネルギーの調達には“追加性”の視点が重要と考えており、現在、その他の地区においても太陽光発電の導入検討を進めております。今後も“追加性”の高い手法を中心に導入を進め、事業所の再生可能エネルギー比率を高めていく計画です。当社は、引き続きカーボンニュートラルに向けた取り組みを継続し、自社のCO₂排出量削減に加え、社会全体の再生可能エネルギー普及にも貢献してまいります。

以上